

【今日の説教から】

神の恵みと愛とは、それを人々が本当に悟った時から人を愛の人へと作り変え、世界中で実を結ばせる力強いものであることを先週学びました。

その愛は、すべての聖徒たちへと分け隔てなく注がれる愛として表され、そのことは獄中のパウロの耳にも達し、パウロは「あなたがたが御靈によっていたいでいる愛を、わたしたちに知らせてくれた」と喜びました。

それを聞いてパウロはさらにこう祈ります。

「あなたがたがあらゆる靈的な知恵と理解力をもって、神の御旨を深く知り、主のみここにかなった生活をして真に主を喜ばせ、あらゆる良いわざを行って実を結び、神を知る知識をいよいよ増し加えるに至ること」

この祈りをパウロはやめないで祈り続けると語ります。

神の御心を知る知識が満たされる、あらゆる靈的な知恵と理解力。これを私達も求めて行きたいのです。私たちの

全ての願いや喜び、それらは何の上に成り立っているのでしょうか。私たち一人一人の個人的な喜びや計画、そういうものももちろんあると思いますが、それらは神様も望んでおられることです。すべての思いを一度神様に委ねて、神様の望まれ、喜ばれるという土台の上に私たちのすべての行い、行動をお任せして待ち望むときに、よい業が生まれ、良き実を実らせ、その実践を通してますます神様を知る知識が増し加えられます。

罪赦され光の子とされたのでそうすることが出来るのです。

皆様おはようございます。明日から9月だというのに、昨日は40度を超える猛暑のところがあったと聞き、驚きました。今週も暑い日々とは思いますが、どうぞ皆様体調にご留意され、お元気にお過ごしください。

さて、先週よりコロサイ書に入っております。獄中のパウロを喜ばせたコロサイの教会からの知らせ、それは「キリスト・イエスに対するあなたがたの信仰と、すべての聖徒に対してもいたいでいるあなたがたの愛とを、耳にした」という事でした。

1:5 この愛は、あなたがたのために天にたくわえられている望みに基くものであり、その望みについては、あなたがたはすでに、あなたがたのところまで伝えられた福音の真理の言葉によって聞いている。

1:6 そして、この福音は、世界中いたる所でそうであるように、あなたがたのところでも、これを聞いて神の恵みを知ったとき以来、実を結んで成長しているのである。

ガラテヤ5:6 キリスト・イエスにあっては、割礼があってもなくても、問題ではない。尊い

のは、愛によって働く信仰だけである。

このキリストの愛のゆえに、尊い神の子のご自身の命を犠牲にしてまで私たちのために贖いとなられた神様の愛にこそ私たちは目を留めます。そしてこのイエスキリストの愛に立脚して私たちは思い、考え、行動しているのかを常に吟味すべきです。私たちは福音によつて赦され、生かされており、満ち満ちた希望と、神様の力と知恵とによって強められ、守られています。コロサイの教会の人たちの信仰の完成のために捧げられたパウロの祈りの続きを目に留めたいと願います。

1:9 そういうわけで、これらの事を耳にして以来、わたしたちも絶えずあなたがたのために祈り求めているのは、あなたがたがあらゆる靈的な知恵と理解力をもつて、神の御旨を深く知り、

1:10 主のみこころにかなった生活をして真に主を喜ばせ、あらゆる良いわざを行つて実を結び、神を知る知識をいよいよ増し加えるに至ることである。

このパウロの祈りの言葉は、私たちが守り行うことにおいて一見難しそうに見えます。

「あらゆる靈的な知恵と理解力をもつて、神の御旨を深く知り、主のみこころにかなった生活をして真に主を喜ばせ、あらゆる良いわざを行つて実を結び、神を知る知識をいよいよ増し加えるに至る」

さらにさらに上に向かう生活ですが、「あらゆる靈的な知恵と理解力をもつて、神の御旨を深く知り、主のみこころにかなった生活をして真に主を喜ばせ」という生活に対しては、もしも主から私たちの生活への採点を頂くとしたらどのような点数が出るかと恐ろしいような気がします。

しかし、この生活に至るという事は、どうやら私たち自身の努力によるものではなさそうです。ここには「あらゆる靈的な知恵と理解力をもつて」と書いてあり、聖霊様が私たちの理解力になっていてくださるという風に理解できる節があるのです。

私たちは生まれながらに肉の性質に生きる者であり、聖霊が与えられなければ、靈のことを理解することが出来なかったのではないかでしょうか。

ガラテヤ 5:5 わたしたちは、御霊の助けにより、信仰によって義とされる望みを強くいだいている。

5:6 キリスト・イエスにあっては、割礼があってもなくても、問題ではない。尊いのは、愛によって働く信仰だけである。

5:7 あなたがたはよく走り続けてきたのに、だれが邪魔をして、真理にそむかせたのか。

5:8 そのような勧誘は、あなたがたを召されたかたから出たものではない。

5:9 少しのパン種でも、粉のかたまり全体をふくらませる。

5:10 あなたがたはいささかもわたしと違った思いをいだくことはないと、主にあって信頼している。しかし、あなたがたを動搖させている者は、それがだれであろうと、さばきを受けるであろう。

5:11 兄弟たちよ。わたしがもし今でも割礼を宣べ伝えていたら、どうして、いまなお迫害されるはあらうか。そうしていたら、十字架のつまずきは、なくなっているであらう。

5:12 あなたがたの煽動者どもは、自ら去勢してしまうがよからう。

5:13 兄弟たちよ。あなたがたが召されたのは、実に、自由を得るためである。ただ、その自由を、肉の働く機会としないで、愛をもって互に仕えなさい。

5:14 律法の全体は、「自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ」というこの一句に尽きるからである。

5:15 気をつけるがよい。もし互にかみ合い、食い合っているなら、あなたがたは互に滅ぼされてしまうだらう。

5:16 わたしは命じる、御靈によって歩きなさい。そうすれば、決して肉の欲を満たすことはない。

5:17 なぜなら、肉の欲するところは御靈に反し、また御靈の欲するところは肉に反するからである。こうして、二つのものは互に相さからい、その結果、あなたがたは自分でしようと思うことを、することができないようになる。

5:18 もしあながたが御靈に導かれるなら、律法の下にはいない。

5:19 肉の働きは明白である。すなわち、不品行、汚れ、好色、

5:20 偶像礼拝、まじない、敵意、争い、そねみ、怒り、党派心、分裂、分派、

5:21 ねたみ、泥酔、宴樂、および、そのたぐいである。わたしは以前も言ったように、今も前もって言っておく。このようなことを行う者は、神の国をつぐことがない。

5:22 しかし、御靈の実は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、

5:23 柔和、自制であって、これらを否定する律法はない。

5:24 キリスト・イエスに属する者は、自分の肉を、その情と欲と共に十字架につけてしまったのである。

5:25 もしわたしたちが御靈によって生きるのなら、また御靈によって進もうではないか。

5:26 互にいどみ合い、互にねたみ合って、虚栄に生きてはならない。

私たちは、感謝と希望と信仰をもって、聖靈により私たちを相と完全取ら導いてくださるお方の御業を待ち望もうではありませんか。

1:9 そういうわけで、これらの事を耳にして以来、わたしたちも絶えずあなたがたのために祈り求めているのは、あなたがたがあらゆる靈的な知恵と理解力とをもって、神の御旨を深

く知り、

1:10 主のみこころにかなった生活をして真に主を喜ばせ、あらゆる良いわざを行って実を結び、神を知る知識をいよいよ増し加えるに至ることである。

聖書のほかの箇所にも目を留めたいと思います。

申命記 30:11 わたしが、きょう、あなたに命じるこの戒めは、むずかしいものではなく、また遠いものでもない。

30:12 これは天にあるのではないから、『だれがわれわれのために天に上り、それをわれわれのところへ持ってきて、われわれに聞かせ、行わせるであろうか』と言うに及ばない。

30:13 またこれは海のかなたにあるのではないから、『だれがわれわれのために海を渡って行き、それをわれわれのところへ携えてきて、われわれに聞かせ、行わせるであろうか』と言うに及ばない。

30:14 この言葉はあなたに、はなはだ近くあってあなたの口にあり、またあなたの心にあるから、あなたはこれを行うことができる。

エゼキエル 36:23 わたしは諸国民の中で汚されたもの、すなわち、あなたがたが彼らの中で汚した、わが大いなる名の聖なることを示す。わたしがあなたがたによって、彼らの目の前に、わたしの聖なることを示す時、諸国民はわたしが主であることを悟ると、主なる神は言われる。

36:24 わたしはあなたがたを諸国民の中から導き出し、万国から集めて、あなたがたの国に行かせる。

36:25 わたしは清い水をあなたがたに注いで、すべての汚れから清め、またあなたがたを、すべての偶像から清める。

36:26 わたしは新しい心をあなたがたに与え、新しい靈をあなたがたの内に授け、あなたがたの肉から、石の心を除いて、肉の心を与える。

36:27 わたしはまたわが靈をあなたがたのうちに置いて、わが定めに歩ませ、わがおきてを守ってこれを行わせる。

36:28 あなたがたは、わたしがあなたがたの先祖に与えた地に住んで、わが民となり、わたしはあなたがたの神となる。

36:29 わたしはあなたがたをそのすべての汚れから救い、穀物を呼びよせてこれを増し、ききんをあなたがたに臨ませない。

36:30 またわたしは木の実と、田畠の作物とを多くする。あなたがたは重ねて諸国民の間に、ききんのはずかしめを受けることがない。

36:31 その時あなたがたは自身の悪しきおこないと、良からぬわざとを覚えて、その罪と、

その憎むべきこととのために、みずから恨む。

ガラテヤ 6:14 しかし、わたし自身には、わたしたちの主イエス・キリストの十字架以外に、誇とするものは、断じてあってはならない。この十字架につけられて、この世はわたしに対して死に、わたしもこの世に対して死んでしまったのである。

6:15 割礼のあるなしは問題ではなく、ただ、新しく造られることこそ、重要なのである。

2コリント 5:17 だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。

5:18 しかし、すべてこれらの事は、神から出ている。神はキリストによって、わたしたちをご自分に和解させ、かつ和解の務をわたしたちに授けて下さった。

5:19 すなわち、神はキリストにおいて世をご自分に和解させ、その罪過の責任をこれに負わせることをしないで、わたしたちに和解の福音をゆだねられたのである。

1:9 そういうわけで、これらの事を耳にして以来、わたしたちも絶えずあなたがたのために祈り求めているのは、あなたがたがあらゆる靈的な知恵と理解力をもって、神の御旨を深く知り、

1:10 主のみこころにかなった生活をして真に主を喜ばせ、あらゆる良いわざを行って実を結び、神を知る知識をいよいよ増し加えるに至ることである。

聖霊の導きにより、神の御旨を深く悟る。それは神の愛をより深く知るという事でしょう。イエス様の犠牲をもって表された神様の愛の思いを深く知るほど、私たちの心の板に神様の愛が書き記されるほどに、私たちはその愛をお伝えしたい、わたくしたちの具体的な業によってその愛を証ししたいと思うようになるのではないか。そしてそのことがますます私たちに神様を知る知識を増し加えるようになるという自然の流れを見て取ることが出来るのです。神様の愛を知り、愛に守られ、導かれ、その心に満たされてひひ願い、行うという事。これはイエス様との信仰の関係を持っているならば、特段に難しいことではないはずなのです。

2コリント 3:2 わたしたちの推薦状は、あなたがたなのである。それは、わたしたちの心にしるされていて、すべての人に知られ、かつ読まれている。

3:3 そして、あなたがたは自分自身が、わたしたちから送られたキリストの手紙であって、墨によらず生ける神の靈によって書かれ、石の板ではなく人の心の板に書かれたものであることを、はっきりとあらわしている。

3:4 こうした確信を、わたしたちはキリストにより神に対していだいている。

1ヨハネ 4:18 愛には恐れがない。完全な愛は恐れをとり除く。恐れには懲らしめが伴い、かつ恐れる者には、愛が全うされていないからである。

4:19 わたしたちが愛し合うのは、神がまずわたしたちを愛して下さったからである。

4:20 「神を愛している」と言いながら兄弟を憎む者は、偽り者である。現に見ている兄弟を愛さない者は、目に見えない神を愛することはできない。

4:21 神を愛する者は、兄弟をも愛すべきである。この戒めを、わたしたちは神から授かっている。

1:11 更にまた祈るのは、あなたがたが、神の栄光の勢いにしたがって賜わるすべての力によって強くされ、何事も喜んで耐えかつ忍び、

1:12 光のうちにある聖徒たちの特権にあずかるに足る者とならせて下さった父なる神に、感謝することである。

「何事も喜んで耐えかつ忍び、光のうちにある聖徒たちの特権にあずかるに足る者とならせて下さった父なる神に、感謝する」

しかし私たちの光に主に守られ、お仕えする身の上にも耐え忍ばなければならない局面があります。しかしそれもまた、私たちにとっての信仰の訓練なのです。苦しみに目を向けながらも、私たちは「光のうちにある聖徒たちの特権にあずかるに足る者とならせて下さった父なる神に、感謝する」ことが出来るのです。

1:13 神は、わたしたちをやみの力から救い出して、その愛する御子の支配下に移して下さった。

1:14 わたしたちは、この御子によってあがない、すなわち、罪のゆるしを受けているのである。

私たちはかつてはやみの力、その権威と司る力の中に屈服され、従わされ、脱出することも、自由にされる道もありませんでした。しかし私たちは私たちを罪から贖い、愛する御子のご支配に移してくださいました。罪の赦しをいただいているのです。もはや私たちは裁きの前で恐れおののくことはありません。私たちは私たちの評定がどんどんと減点されていく恐れにおののくことはありません。私たちは許され、愛する御子の支配の中にある光の子であり、聖霊により愛の知識を頂いて御心を悟り、良き業を行い、実を結ぶことが出来るよう

作り変えられているのです。失敗するときにもそこには赦しがあり、力を頑いで私たちは上に向かっていけるのです。

1ペテロ 2:24 さらに、わたしたちが罪に死に、義に生きるために、十字架にかかって、わたしたちの罪をご自分の身に負われた。その傷によって、あなたがたは、いやされたのである。

2:25 あなたがたは、羊のようにさ迷っていたが、今は、たましいの牧者であり監督であるかたのもとに、たち帰ったのである。

◇祈祷；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。

「わたしが今日あなたに命じるこの戒めは難しすぎるものでもなく、遠く及ばぬものでもない…御言葉はあなたのごく近くにあり、あなたの口と心にあるのだから、それを行うことができる」との申命記30章の御言葉をありがとうございます。私たちはもはや罪赦され、聖霊の導きの中、愛する御子イエス様の支配下に置かれており、神様のご意志を知り行うことが出来るようにされていますことをありがとうございます。どうぞあらゆる苦しめる方々を神様の救いと平安の中にお導き下さい。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。私たちをお用い下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン